

2026 年度 授業概要

科目名		身体障害評価学Ⅱ	授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
本講義では、1年次および2年次前期までに学修した身体障害領域の基本評価技術を再確認し、正確な手順に基づく手法を遂行・記述できる能力を養うことを目的とする。各評価項目（感覚、反射、運動麻痺、形態測定、可動域）をSOAP形式を用いて論理的に整理する技術を修得する。また実習場面を想定した一連の評価プロセスを経験することで、対象者への接遇と適切なアウトプット能力を身につける。							
〔授業全体の内容の概要〕							
学生同士で実技演習を通じ、対象者の状態を客観的に捉える観察力と、それをSOAP形式で論理的に記録する技術を修得します。具体的には、これまで学んだ評価技術を繰り返し練習し、正確な測定手技と専門用語を用いた適切な記述方法の再確認します。授業の最後に実技の確認を行うことで自分自身の改善点を把握し、今後の学びに活かすことで、実習に向けた確							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
1.SOAPの構造を理解し、対象者の情報を適切に分類・整理できる。 2.各評価項目を臨床実習で求められる正確な手順で遂行できる。 3.評価結果を専門用語を用いて、簡潔的に記述ができる。 4.実技の確認を通じて自身の改善点を把握し、学びに活かすことができる。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション、SOAP概論						
2	SOAP（O：客観的情報の書き方）						
3	感覚検査、腱反射・病的反射の再確認、SOAP作成						
4	Br.stage（上肢・手指・下肢）の再確認、SOAP作成						
5	形態測定、握力測定の再確認、SOAP作成						
6	ROM測定の再確認とSOAP作成						
7	実技の確認に向けた準備（総復習）						
8	まとめ（実技試験、フィードバック）						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
ベッドサイドの神経の診かた 改定版	田崎義昭 他	南山堂
リハビリテーション基礎評価学	潮見泰藏 他	羊土社
標準作業療法学 作業療法評価学 第4版	能登真一 他	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
